



あじさいネット OFF LINE 通信

創刊号



平成 23 年あじさいネット運営委員会忘年会にて

目次

会長あいさつ		P2
会員の声	フジイ胃腸科クリニック 藤井 正博 先生	P3
	たくま医院 詫摩 和彦 先生	P4
	諏訪薬局 諏訪 敏幸 先生	P5
情報提供病院	地域医療連携室から 国立長崎医療センター	P6
	光晴会病院	P7
あじさいニュース・トピック&今後の予定・視察対応実績		P8
協賛メーカーの紹介		P9
入会方法・事務局紹介等		P10

現在の運用状況

(平成 24 年 1 月 15 日現在)

全登録数 19,712 人

(全件書面同意取得済み)

会員数 221 名

情報閲覧施設数 150 施設

(うち調剤薬局数 13)

情報提供病院数 14 施設

協賛メーカー (賛助会員)

- (株)ホギメディカル福岡営業所
- 日本電気(株)医療ソリューション事業部
- 三菱化学メディエンス株式会社

基本理念

地域に発生する診療情報を患者さまの同意のもと、複数の医療機関で共有することによって各施設における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し、診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものです。

NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会

あじさいネット誕生から今後の展開プラン

「あじさいネットの可能性は広がっています。」



あじさいネット会長 小尾 重厚先生

大村市医師会長

医療法人 おび産婦人科医院 院長

TEL : 0957-54-1103

e-mail : j-obi@octp-net.ne.jp

あじさいネット誕生

当時に振り返って

2002年くらいから立ち上げ前の動きが始まりました。当時、長崎医療センターでは電子カルテの導入を進めていました。また、我々大村市医師会ではちょうどIT導入へと変わっていく時代で、理事会の中でもインターネット利用が盛んになり、医師会の中にもLANを配線するといった流れがありました。私もちょうどその頃、産科のオープンシステムに興味があり、長崎医療センターを基幹病院として、オープンシステムをやりたいなと考えておりました。

こういったことが重なってネットワーク作り的一所懸命はまり込んでいったことを思い出します。

拡がりをみせたキーワード

最初から「複数の病院が利用できることを前提で構築したこと」が最初のキーワードです。一つの病院が多額の費用を負担して、診療所が無料で利用する形だと、後から他の病院が入って来れず、発展性がなくなるからそれだけは辞めよう。そのため先行した長崎医療センターだけではなく、大村市民病院にも参加するよう強力にお願いしました。大村市の二つの公的な総合病院が当初から参加したことは大きな価値があったわけです。

立ち上がりの際に、大村市医師会員に対してアンケート調査を行いました。牟田先生や田崎先生といった開業医の先生方が中心になって、どういうことをやりたいか？何を閲覧利用したいか？を聞きました。その中で、画像をみたい、薬剤、サマリ、画像の読影レポートがほしい、検査データをみたいといった要望ができました。その後も要望の変化をみるためアンケートを何度か行い、その都度ネットワークの土台作りに取り入れていきました。今振り返ってみると、会員のニーズを正確に把握するためにアンケートを頻回に行ったことも良かったと思います。

補助金なしで始まったネットワーク作りでした。
運営費は利用料でまかないました。

「やれることからやっつけていこう！」と皆、アイデアを出し合っただけでなく、お金をかけず必要最低限で、安くして自分らの満足がいくものを作ろうと議論を重ねました。

NPO法人あじさいネットは現在、多くの皆様によって支えられておりますが、私はこのヒューマンネットワークこそが今日に至る広がりをみせた一番重要なキーワードだと考えております。

今後の展開プラン

より使いやすくして多くの会員の方にもっと有効利用してもらおうことが第一です。現在でもあじさいネットの利用によって提供する医療の質の向上につながっていますし、無駄な検査は減少しますので、医療費の削減にも寄与していると思います。今後は、更に医療機関にとってインセンティブが働くようにしていきたいと思っています。また、少しは診療報酬面でのインセンティブもあつていいのではないかと、私は考えています。

あじさいネットの可能性は多々ありますが、近い将来ではTV会議が挙げられます。これは、あじさいネットの暗号化したネットワークを利用して県内各地の医師会と医療機関をつなぐものです。長崎は五島、壱岐、対馬といった離島が多いのですが、TV会議を使って、例えば五島なら、福江に集まっていますが、TV会議に参加することの他の場所でも拠点にTV会議の装置を設置することで県内どこにいても皆いつでも参加できる、そういったシステム作りを進めています。

小尾先生にQ&A！

Q. 運営委員会とは？*1

あじさいネットの推進力でありエンジン。運営委員会ではインフラを作っている。各地域に広がっていくことは、ルールができていっているのだと思う。

Q. 将来できたらいいなと思うことは？

- 学生講義の配信（最新の学問を学べるので）
- あじさいネットを通じて産婦人科カンファランスに参加
- 病理画像診断の利用（手術の際、より最良の手術の形ができるから）

Q. 座右の銘

「可もなく不可もなく 一所懸命に」
自分は特別できる人間でもないよ。下でもないよ。跳ね上がらずに常識的にやっていますよ。私が私がでは誰もついてこないと思う。

*1 運営委員会：理事、運営委員で構成
月1回、第4月曜に大村市にて開催

Member's Interview vol.1

「私はあじさいネットをこんなふうに利用しています」



胃がんや大腸がんの早期発見を自分の一番のライフワークにしていますが、紹介する際に利用する事が多いですね。

診察の中でがんを発見したら、それを内視鏡でフィルムにおさめて、その画像と一緒に長崎医療センターや大村市民病院に紹介しますが、あじさいネットを利用すると、自分が紹介した患者さんが入院してどのような経過・転帰をとったかを知ることができます。

退院してクリニックに戻ることもあれば、不幸にして亡くなることもあります。そういった経緯を全て自分の診察室から見ることができるといいですね。



あじさいネット
使用風景

大村市東本町

医療法人 **フジイ胃腸科クリニック** 藤井 正博 先生

TEL : 0957-54-8686 masa-fuj@vesta.ocn.ne.jp

また例えば、胃がんだったら深達度（がんがどこまで潜っているか）とか、その広がりとかは、最初にすべて分かるわけではなく、基幹病院での詳細な検査や手術の結果で、どの程度のがんであるかが分かります。

あじさいネットを利用すると、自分が最初につけた診断が最終的にどのような診断になるかを確認することができます。そうすることによって、自分の診断が違っていたとか、やっぱり正しかったとかを知ることができる、そういうのが非常に勉強になりますね。

あじさいネットへの参加同意の説明について

「私も普段から見えますよ。だから安心していつてらっしゃい。」
「そういうホームドクター的な声かけをしています。」

同意書については一言二言話したら皆さん同意してくれます。病院に紹介する際でも

「私も普段からあじさいネットで見えますよ。だから安心していつてらっしゃい。」といった説明をしますと、「それじゃありがたいですからお願いします」と。あじさいネットの説明をして、同意を断られたことはありませんね。

・ DOCTOR'S PROFILE ・

- S 60年 福岡大学医学部卒
- H 4年 医療法人
フジイ胃腸科クリニック開業
- H16年 発足当初よりあじさいネット会員
大村市医師会副会長
あじさいネット理事

—座右の銘—

■ 自未得度先度佗（じみとくどせんだた）
曹洞宗の教えです。これは「自ら未だ渡らざる先に、他を渡さんとする心」です。「人のためにさせていただくことが、自分の幸せになるんだよ」という教えです。



今後あじさいネットに期待することは？

ゆくゆくは我々のような診療所からも診療データをあじさいネットに提供できたらいいですね。

基幹病院が当院のデータとか他院の過去のデータを見たり、例えば、以前撮った内視鏡で最初はどうな病変だったか病院をまたがって経時的に分かるよう、あじさいネット上で一元化して、この地域の医療機関のデータ全部をひとつの画面でお互いが見られるような。それができれば理想的ですね。

在宅医療の退院前カンファの際に役立っています

長崎医療情報「維新」と名付けて

長崎市医師会としてあじさいネットに入会する4年前に地域医療ネットワーク推進部会ができ途中から委員長に任命されました。

ちょうどそのころは、病院がそれぞれ独自のネットワークを導入し始めていました。これが完成すると、病院毎にシステムが異なり利用操作が大変になります。一つの画面を開けば全部につながる、そういった統一規格路線を進めようと、医師会の理事が中心になって検討の日々が続きました。

調べていくと全国色々あるシステムの中で隣の大村にいいネットワークシステムがあるじゃないかって、話になりました。実際、既存のシステムの中では、あじさいネットが一番優れていましたし、値段も安価で最適でした。このような経緯で長崎市医師会にあじさいネットの導入が決定したという訳です。



あじさいネット
使用風景

・DOCTOR'S PROFILE・

S61年 福岡大学医学部卒
H21年2月よりあじさいネット会員
長崎在宅Dr. ネット 理事・広報部長
あじさいネット準備委員会 委員長
長崎市医師会情報処理委員会 委員

長崎市深堀町

医療法人 **たくま医院** 詫摩 和彦 先生 内科・小児科・(マンガ科)

TEL : 095-871-3478 takuma@fb3. so-net. ne. jp

医師会の会員は五百名超いますが、会員全員に周知して了承を得るのに五年かかりました。何度も説明会を開き、アンケートをとり、了解を得る、そういった段階を踏むのが大変でした。

情報提供病院側にも了解を得るまでに、アンケートをとって要望を把握するとともに、「あじさいネットを利用するとこれだけ便利になるし、病診連携が進む、患者さんの紹介もきつと増えますよ」と目に見えないメリットを訴える作業が続きました。

長崎医療情報「維新」と名付けて「明けぬ夜はない！」と唱えながら皆でがんばったんですよ。

「在宅医療にも力をいれています。」

あじさいネットは在宅移行の際に行う退院前カンファレンス後の準備のとき一番役に立っています。」

退院前カンファの時点で、ご家族との面談の後に、あじさいネットの説明をして同意書にサインをもらうようにしています。そうすると退院にいたるまでの過程で、入院中の経過を見たり、様々な情報を収集できますので、在宅診療移行後の準備が簡単になりました。

準備の段階で困るのが、点滴類とか内服薬類とか紹介状一枚では単純化されて書いてあって、具体的なことが少なかったり、薬のミドリ数が退院直前に変わっていた、といった変更が結構あることです。それが、あじさいネットを利用した場合は病院の先生が書いた処方箋そのものを見ることができるので間違いないんです。

Q. あじさいネットに期待することは？
全情報を知りたいっていうのがあります。電子カルテになつているのであれば、医師カルテから看護カルテ、カルテそのものをみられれば経過を追いやすいですよ。今はまだ全ての診療情報を公開していない病院もあるので、そのような場合は、その先生がどんなことを考えて検査を組まれたかといったことは、推理しなければなりません。2号用紙は退院サマリー以上に【どういう流れでこの検査が必要だったのか】とか【こういう治療法を選択したのか】とかが一目瞭然に分かります。もちろんきちんとして書いてあればですが(笑)

在宅診療先であじさいネットを見られたらいいですね。あじさいネットのモバイル化です。また医者だけでなく、訪問看護師とかケアマネージャーまで同じ画面が見られる状況になっていくように現在、準備中ですが、これが完成すれば更に在宅医療の質は高くなっていくと思います。

Q. 先生にとってあじさいネットとは？

情報提供書としての手紙やファックスと同じような感覚であじさいネットというIT情報がある。完全に診療ツールの一つになっています。

Q. 座右の銘を教えてください

■毒を食らわば皿まで

在宅医療をどんどんやっていくと医療そのものよりも生活に入り込むことが多くなります。過去のことも人間関係のこととか色んなことを知っておかないと、どうしても末期がんの方とか家族の心を支えるのが難しい。何でもかんでも自分のできることもできないことも一旦は聞く、それから自分のできることはやって、できないことは他の先生にお願いしたりします。そういう心構えをしています。

薬剤師にあじさいネットの輪を広げていきたい



あじさいネット
使用風景

大村市諏訪町
有限会社 諏訪薬局 諏訪 敏幸 先生

イヤー最初は苦労しました。

なかなか患者さんに理解してもらえなくて、患者さんにとって自分のカルテを薬局で見られるということに抵抗感があったのかもしれないですね。最初3人続けて参加同意を断られました。それで待合室に【当薬局はあじさいネットに取り組んでいます】といったポスターを作って置いてました。

そして患者さんには、一回目は「こういうこともやってますからね。」って声をかけて、2回目、3回目でゆっくり聞いていくようにしたところ、徐々にあじさいネット参加同意が取れるようになりました。

また、大村市内であじさいネットがだんだん浸透していったのもあって、同意してくださる患者さんが増えました。最近では「クリニックでもあじさいネットを勧められました。」と言われる方もいらっしゃいます。

TEL : 0957-53-1015 (諏訪薬局スワ店)

あじさいネットに入ってもらおうと信頼関係がかなり違ってきました。患者さんと話すときに信頼が増しているのが分かります。あじさいネットに参加されている方がみえられた際に、「もう結果、見たでしょ。」と言われるときもありません。私が検査結果等を既に把握しているものとして、みえられているんですよ。

先日、ある肝臓がんの患者さんにあじさいネットの同意をしてもらったのですが、ご本人は告知を受けておられなかったようでした。もし処方箋だけだったらただ肝臓が悪いのかな、と思うのですが、あじさいネットで背景や経緯や病状が分かり、ご本人に合った話ができました。

あじさいネットを利用することによって、患者さんとゆとりを持って話せますし、服薬指導に生かすこともできます。

また、患者さんの安心感が増しているの感じます。

現時点ではもつと薬剤師に輪を広げていきたいですね。調剤薬局が、あじさいネットにもっとたくさん参加してほしい。大村の薬剤師会員は全員入るとかね。

色々な使い方がありと思うんですよ。「実際にやってみてこういう使い方もあったよ」ってそういう声を増やして、参考にしていきたいですよ。また、同じ土俵にいると問題点も見えてくるんじゃないかな。

・諏訪薬局・

S24年 開局

・諏訪 敏幸先生 PROFILE・

S50年 福岡大学薬学部卒
有限会社 諏訪薬局 代表取締役
H19年よりあじさいネット会員
大村東彼薬剤師会前会長
一座右の銘一

■最大よりも最良の薬局たらん

大きさよりも小さくてもいいから、情報提供も含めて患者さんに一番いい、親切に信頼される薬局になりたいですね。



諏訪薬局
スワ店にて

あじさいネットに薬剤師の先生が初めて加入されたのは平成19年のこと。諏訪先生は当初から参加されています。

Q. 今後あじさいネットに期待することは？

将来的には、連携している近隣の診療所とのやりとりができるようになったらいいですね。それとあじさいネット利用のスキルアップのために、定期的な運用講習会を開催してほしいです。

情報提供病院のご紹介

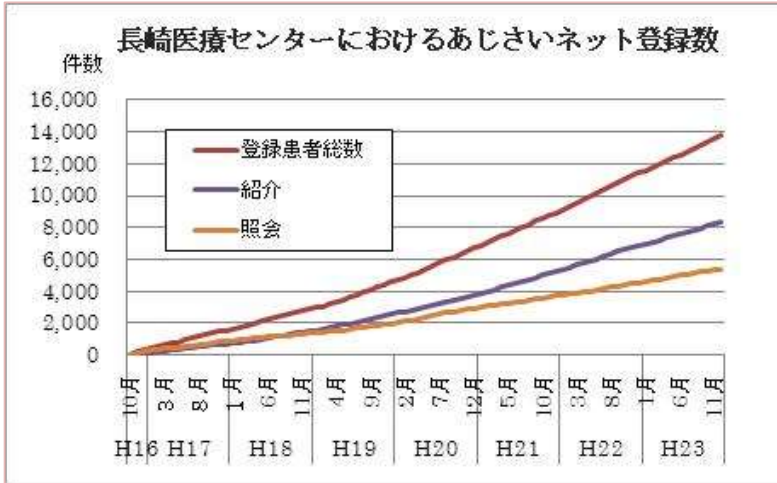
(県央エリア)

独立行政法人国立病院機構

長崎医療センター 地域医療連携室

あじさいネットが正式に運用開始したのは2004年11月15日。

長崎医療センターの電子カルテを31医療機関にて共有したのが始まりです。



H23年12月現在で、登録患者数は13,700を超え連携医療機関数は85となっております。

Message / 中原 賢一 先生

長崎医療センター副院長
(医療相談支援センター長)

あじさいネットは **face to face** の **関係** が出来ているからこそ発展してきましたので、その関係を継続することが最も重要と考えています。

基幹病院と診療所で機能分化(高度医療を提供する当院とかかりつけの診療所)をきちんとする事でお互いが自然に協力関係になるように努めています。

当室では、紹介患者さんの初診予約をお取りしたり、高度医療機器の検査予約の受付等の業務を行っています。

カルテを公開しますので、同意書の扱いは一番慎重にしています。

あじさいネットでは当院のカルテを公開し地域の医療機関と情報を共有しますので情報セキュリティ面での安全を確保するため、特に情報閲覧施設から送られてくる同意書の扱いについては確認作業を慎重にしています。

今ではほとんど問題なく登録できておりますが、初期の頃には未成年の患者様の同意書に2親等以内の成人の代理署名がなかったり、代理者が入所中の施設の職員の署名だったりしたことがあります。また、必要事項の記入漏れのある場合などありますが、その場で電話し確認作業を行う対応をしています。このように臨機応変に対応をさせて頂いていますが、どうしても対応できない場合は情報閲覧施設の先生方に、大変申し訳ないですが、同意書の受付をお断りすることもあります。



届いたFAXの
入力作業中です。

登録作業は5分程度で済みます。情報閲覧施設への登録完了のFAXは15分以内に送ります。

あじさいネット会員の皆さまへ

あじさいネットを上手く活用していただければと思います。あじさいネットでカルテの閲覧ができるのはもちろんですが、診療情報提供書等をあじさいネットのWEB機能を使っていただければ、FAXなどよりも安全かつ鮮明に送ることができます。ぜひ、ご利用ください。

「あじさいネット説明同意書」をFAXで頂いてから、登録し、登録が完了した報告をFAXでお返事するのは、十五分以内を目指しています。ただ、当連携室では、診療及び検査予約も平行して行っているため、申し込みが殺到する月曜日の朝は遅くなってしまうことがあり、大変申し訳なく思っております。

同意書に当院の患者IDをご記入いただくことは、患者様の特定が容易になるので助かります。



地域医療連携室スタッフ

情報提供病院のご紹介

(長崎市エリア)

医療法人 光晴会病院 地域医療連携室

長崎地域であじさいネットが運用開始したのは2009年4月。

第一期稼働施設として光晴会病院、長崎大学病院、十善会病院が情報提供をスタートしました。

Message / 岸川 博紀 理事長

あじさいネット入会のきっかけ

当院が持つている情報を多くの先生方と共有することが最も大切であり、そういった取組が無駄を省いていくことにつながっていくと考えました。また手紙のやりとりではタイムラグが生じますが、あじさいネットを利用すると瞬時にみただけの事は極めて重要だと思われましたので、長崎市で当初より参加しました。

現在、オーダーリングの中で提供できるものは全て提供しています。また近い将来には電子カルテの導入を予定しています。

先々でできれば、あじさいネットを利用して、他院の先生方と診療に対するディスカッションが出来るようになればと思います。例えば、掲示板とかを作って他院の先生方に書き込んで頂いたり、当院から書き込んだりといったディスカッションの場にもなったらと考えております。



あじさいネットで不具合が生じた場合、院内SE、担当者が迅速に対応しています。前列左が岸川理事長。

今後、病病連携に期待しています

病病連携は今後の大きな課題になっていくだろうと考えています。

現在、診療情報の多くの部分を持っていていますが、患者さんの全ての情報を持っていくって頂いている訳ではありません。病病連携の実現により、あじさいネットを利用して病院間の情報共有ができれば、同様の検査を行う必要がなくなるため、検査の無駄を防ぐことができるようになると考えております。

病病連携に関しては、なかなか難しい面もあると思いますが、今後色々なものをクリアしていつて早期に実現する事を期待しています。

あじさいネットへの要望

現在、あじさいネットのセキュリティ面について不安はありません。しかし、何が起こるか分からない時代ですし、一つでも情報が漏れる事は絶対にあつてはならない事です。で、今後更にセキュリティを強固なものにしていただいて皆が益々安心して使えるようなシステムになっていくってほしいです。

あじさいネットへ期待すること

もっと更に会員数を伸ばし、県内広域に広がってほしいです。また、薬局については薬の処方内容を的確に知って頂きたいので、今は紙（処方箋）で処方内容を見られています。あじさいネットを利用してもらえたらと思います。そうすることによって、薬の重複もかなり減っていくと思います。

～ 地域医療連携室より～

あじさいネット会員の皆さまへ

あじさいネットへの登録作業は、何も問題がなければ5分程度で完了します。連携室は現在5名いますが、誰でも対応できるようにしています。

FAXで送られてくる同意書の中で、患者様のお名前のフリガナの記入漏れがある場合があります。難しい読み方や複数の読み方、最近では外国の方もいらっしゃる。ですので、同意書記入の際に患者様に記入漏れがないように促していただければ助かります。



地域医療連携室スタッフ

・・ ajsai news ・・

■ NHK 教育テレビ・E テレ『社会のトビラ』であじさいネットが紹介されました。

* 『社会のトビラ』は小学5年生向けの教育教材です。全国の小学校の授業で使われています。
テレビ放映は終了しましたが、HP でご覧になる事ができます。

→www.nhk.or.jp/syakai/tobira/ 【第15回 暮らしを支える情報】をクリック！

■ 長崎市立市民病院において、1月より電子カルテが導入され、医師記録（2号用紙）が利用できるようになりました。

・・ 最近のトピックス & 今後の予定 ・・



2011年 11月

原爆病院にて医師記録の共有が開始されました。

2012年 1月

長崎市立市民病院にて電子カルテ導入に伴い、医師記録の共有が開始されました。

2012年 5月19日（土） 第3回あじさいネット研究会が開催されます。

於：活水大学看護学部講堂（大村市）

昨年も開催され、県内外より多数の参加がありました。本年も充実したプログラム内容になっておりますので、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2012年

佐世保地域にてあじさいネットの運用が開始されます。

2012年 春

■ 佐世保総合病院、佐世保中央病院が情報提供病院として運用開始予定

2012年 秋

■ 長崎労災病院、佐世保共済病院が情報提供病院として運用開始予定

2012年 9月

あじさいネットを利用した新たなサービスの開始が予定されています。

■ 離島（救急）支援システム、高品質遠隔画像診断システム

■ 医師会・病院間 TV 会議システム、簡易コンサルテーションシステム

■ 医療従事者生涯教育支援システム

2012年 10月

あじさいネット総会・理事会が開催予定です。

【事務局からのお知らせ】

あじさいネットのパスワードは、セキュリティルール上、90日ごとに変更が必要です。

万一変更しなかった場合、パスワードが失効しシステムが利用できなくなりますのでご注意ください。

尚、失効した場合は事務局にご連絡ください。パスワードの再発行を行います。

あじさいネット見学・視察対応実績

あじさいネットでは全国各地から見学・視察を受け入れています。

今までに受け入れた団体数は48施設に及びます。

以下は昨年一年間に受け入れた団体（21団体）です。

- ・ 兵庫県加東健康福祉事務所
- ・ 滋賀県医師会
- ・ 広島県 福祉保健部
- ・ 大分県立病院
- ・ 星総合病院（福島県）
- ・ (財)神戸都市問題研究所
- ・ 広島県立広島病院
- ・ 長崎北徳洲会病院
- ・ 宇部興産（株）中央病院（山口県）
- ・ 東京都大田区議会
- ・ 日経産業新聞長崎支社
- ・ 福井県 関西電力（公益財団法人嶺南医療振興財団）
- ・ 愛媛大学医学部附属病院 医療福祉支援センター
- ・ 熊本大学大学院社会文化科学研究科
- ・ 大牟田市立中央病院
- ・ 石巻赤十字病院
- ・ 東北大学病院（宮城県脳卒中ネットワーク）
- ・ 徳島大学附属病院
- ・ 有限責任監査法人トーマツ
- ・ 四国がんセンター
- ・ 福岡県医師会

・・協賛メーカー・・

HOGY®

一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。

国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344



これからの「医療」を
考えています。

Empowered by Innovation

NEC

地域に分散した診療情報を統合して共有するネットワークサービスで地域医療連携をご支援します。

NECの地域医療連携ネットワークサービス

まずはWebで、詳細情報を。

NECの地域医療連携 www.megaook.com/

お問い合わせは、NEC(医療ソリューション事業部)へ
〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル) TEL. 03(3798)6756

<http://www.nec.co.jp/>

人と地球にやさしい情報社会へ

Good Health Creator, MEDical+sciENCE

独自の事業スタイルを基盤として
ヘルスケア分野に新たな潮流を生み出します。

東日本大震災により被災された皆様に対し謹んでお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興を心より祈り申し上げます。



□ 事業内容

- 臨床検査
(生化学的検査・血液学的検査・免疫学的検査・微生物学的検査・遺伝子関連検査・病理学的検査・その他検査)
- 予防医学関連サービス
- 医療関連サービス
- 体外診断用医薬品・体外診断用機器・試薬等の開発・製造・販売及び輸出入
- 医薬品・化学品の毒性試験、有効率試験
- ヒト細胞による薬効・毒性評価
- 遺伝子・タンパク質解析
- 医薬品・農薬・化学品・食品添加物・化粧品等における安全性評価・環境リスク評価サービス
- 食の安全サポート
- ドーピング検査

三菱化学メディエンス株式会社

〒108-8559 東京都港区芝浦四丁目2番8号
TEL.03(6722)4000(代表)

あじさいネット入会方法のご案内

1. 入会

入会申込書を事務局宛に送っていただきます。
所属医師会が入会している場合は個人の入会金は無料です。
所属医師会が入会していない場合は、入会金が **50,000 円** 必要となります。尚、初期設定費用として別途 **30,000 円** を承ります。

2. 利用料金

月々4,000 円 (レセプトオンライン請求も希望の場合は 5,000 円) と年 **3,000 円** のウイルス対策ソフトライセンス料が必要です。
ウイルス対策ソフトライセンス料とあわせて年間一括払いをお願い致します。

3. 機器の設置

機器設置用ヒアリングシートに必要事項をご記入の上、事務局宛にファックスまたは郵送願います。
シートに基づいて専門スタッフ (NTT 西日本ホームテクノ九州) が設置、動作確認に参ります。

4. 運用講習会

利用法の運用講習会です。講習後『講習会受講修了証』とアクセス専用 ID と仮パスワードをお渡し致します。

5. 同意書と登録

患者さまにあじさいネットに関する説明を行い、あじさいネットに参加するための同意書をご記入いただきます。取得した同意書は診療情報閲覧を希望する情報提供病院の医療連携室宛にファックスで送付して下さい。約 10 分後に連携室より手続き終了の FAX が届きます。この段階で利用可能です。

6. あじさいネットポータルサイトへのログイン

アクセス専用 ID・パスワードにてあじさいネットのポータルサイトにログインし、同意を得た患者さまの診療情報を閲覧することができます。

入会等に関するお問い合わせ先

あじさいネット事務局 (長崎県医師会事務局内) 担当: 三浦、苑田
電話 095-844-1111 FAX 095-844-1110

*手続き上、必要な様式ならびに同意書につきましては HP からダウンロードできます。



○ Dr. 松本
あじさいネット拡充プロジェクト室長
○ 馬場
その事務。今回、広報誌の取材をさせて
いただきました。
取材や発行にあたってご協力頂いた多
数の方々に心より感謝申し上げます。

・ ・ 編集後記 ・ ・

「あじさいネット」は今年 11 月で 8 年目を迎えます。最初はたった一つの病院カルテを 31 の診療所で共有する取り組みが、今では長崎県内 14 病院のカルテを 150 もの医療機関が共有しています。今年の春には佐世保市の 4 病院も参加予定ですので、これで長崎県全土に広がったこととなります。年々拡大していく「あじさいネット」には全国の地域連携に携わる方々の注目の的となり、ほぼ隔週ペースで見学者が訪れておりますが、一つ残念なのは、これだけ国をはじめ全国から注目されているにもかかわらず、県内では、名前は知っていてもどんなことができるのか知らない方々が少なくない点と会員の利用度の差が大きい点です。そこで「あじさいネット」を上手に活用されている会員の方々にインタビューしその使い方を紹介することで、さらに活発に「あじさいネット」を利用してもらおうと考えたのが、この広報誌を立ち上げた理由です。これを機会に多くの会員がより有益な利用法を知り、活発に使っていただくと共に、まだ入会されていない医療機関の方々や検討中の方々に「あじさいネット」の価値を是非、知っていただきたいと思っております。

あじさいネット OFF LINE 通信 編集長 松本 武浩

広報誌に関わるご意見・ご要望は、長崎県医師会 長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室までお寄せください。
電話 095-894-9655 FAX 095-894-9651 ajisai-project@nagasaki.med.or.jp
最新の情報は、HP をご覧ください。 <http://www.ajisai-net.org/>